

学校全体

学年や学級の枠を超えて取り組んでいることや、自主的な活動の紹介(6~9月)



■「ふるさと嘉瀬まつり」に参加して、町を盛り上げよう!

昨年は、4年ぶりの開催となり、抽選券800枚が足りなかったということで、今年は、1000枚の抽選券が用意されていたそうです。もちろん、それも全部はけたそうです。

子どもたちには、事前に宣伝をしていましたが、本当に全校児童が参加したのは?!というほどの賑わいでした。当日、道端を飾ってくれたランタンの絵は、夏休み前に6年生が描いてくれました。日暮れて辺りが暗くなる時間には、あまりの人出に、「嘉瀬町にも、こんなに子どもがおったね〜」と、地域の方が驚かれました。「子どもは町の宝」と言われるのが良く分かります。



■嘉瀬町をきれいな町にしたい!

9月になっても、嘉瀬小の子ども達の中には、登校時に道端の空き缶を拾って来てくれている子どもたちがいます。先日は、交差点に立ってくださっている巡査さんが、そうした子どもの姿に感心されて、わざわざ学校まで足を運んでくださいました。

また、こうした活動をまちづくり協議会で話題にすると、参加された団体の中には、そうした子ども達の活動を受け、「私たちだって、子ども達に負けていけない。自分達の活動にもゴミ拾いを付け加えます!」と、健康部会では、『ラジオ体操の後のウォーキング』にゴミ拾いを付け加えてくださいました。また、ふれあい文化部も、『歴史散策&ゴミ拾いウォーク』と題して、町内の寺社や供養塔をゴミ拾いしながらウォーキングをされたそうです。このように、地域の方も、嘉瀬町をきれいな町にしたいという子ども達の思いを、しっかり繋げてくださっています。嬉しいことです。町の未来は、明るいですね。